

第344回(令和元年6月)定例会
第2回各会派政務調査会長会 開催結果

1 日時

令和元年6月20日(木) 午前11時35分から午後12時05分まで

2 場所

第3号館6階 第1委員会室

3 出席者

自由民主党	春名哲夫	政務調査会長(座長)
	大豊康臣	政務調査副会長
ひょうご県民連合	向山好一	政務調査副会長(竹内政務調査会長代理)
公明党・県民会議	越田浩矢	政務調査会長
維新の会	高橋みつひろ	政務調査会長
日本共産党	いそみ恵子	政務調査会長

(オブザーバー)

自由民主党	門間雄司	政務調査副会長
	村岡真夕子	政務調査副会長
公明党・県民会議	島山清史	政務調査副会長
維新の会	増山 誠	政務調査副会長
日本共産党	きだ 結	政務調査副会長

4 当日配付資料

別添のとおり

5 会議概要

(1) 会派提案意見書案に対する態度表明・整理

各会派から他会派提案意見書案に対する態度が別添のとおり表明された。
その際、次の意見書案について、以下のとおり発言があった。

ア 意見書案5「農林水産物・食品の輸出力強化を求める意見書」について

○越田浩矢公明党・県民会議政務調査会長

共産党から反対のご意見があったが、食料自給率を上げることを否定している訳ではなく、海外に輸出することで兵庫県が強くなっていくという側面もあると思うので、輸出のみを言っているわけではないということでご理解いただき、修文に応じてもらえないか。

○いそみ恵子日本共産党政務調査会長

かなり検討したが、国が掲げる農林水産業の輸出力戦略に基づくと、本来やらなければならない自給率を上げていくための予算がもっと必要になるにもかかわらず、農林水産物輸出インフラ整備プログラムに基づいた色々な設備等のハード整備をやっていこうとされている。日本がやらなければならないのは食料自給率の向上と考えるため、本意見書には賛同できない。

食料はもはやお金さえ払えば輸入できる状況ではないし、気候変動や水需給の逼迫などで生産拡大の制約が強まる中、需要拡大も強まっている。政府も世界の食料自給率は中長期的には逼迫するとしている。食料の6割以上を輸入に頼っている日本において、輸出力強化を求めるといった意見書を提出するのは駄目だと思うので、再考には応じられない。

○越田浩矢公明党・県民会議政務調査会長

物の見方は色々あると思う。食料自給率を上げていくことも当然大事だと思うが、売れる物を作っている農家にとっては、海外で売りたいという思いもあるだろうし、それによって農業自体が強くなり、自給率も上がっていく側面もあると思うので、輸入に頼っているのに輸出はまかりならないという話ではないのではないかと思うがどうか。

○いそみ恵子日本共産党政務調査会長

とても大事な点だと思うし、全面否定はしていない。日本の農業政策は大きな法人に目が向いているが、基本である家族農業に対する対策がもっと必要だと思うことでこの意見書には賛同できない。

○越田浩矢公明党・県民会議政務調査会長

ご理解いただきたいところであるが、仕方ないと考える。

○春名哲夫 座長

それでは、意見書案5については、再考に応じられないということで意見書の提出を見送る。

イ 意見書案9「コンビニ業界の健全な発展をはかるためのコンビニ・フランチャイズ法の制定を求める意見書」について

○いそみ恵子日本共産党政務調査会長

コンビニは店舗数も増えており、県民の日々の生活に密着している。災害時の支援拠点など地域を支える重要な役割も担っているが、様々な要因で経営が危機に瀕している。我が党が国会でも取り上げている内容である。色々な法規制が働いているということなので、ぜひ再考をお願いしたい。

○大豊康臣自由民主党政務調査副会長

コンビニ業界が発展して、生活に必須となっているのはよく分かるが、コンビニ本部とそれぞれに正当な契約関係があると思う。それぞれの責任の中で、事業

がなされ、経済活動がなされていると考える。諸問題については、すでに業界内で改善方策が講じられようとしている。そこをしっかりと見据えながら、業界の自浄作用も働くと思うので、その動向を見極める必要がある。そのため、法制化について行政が入るべきではない。

○越田浩矢公明党・県民会議政務調査会長

フランチャイズ契約自体が経済的な自由が認められているものである。契約内容についても、合意してフランチャイズに加入しているという大前提がある。その上で、優越的地位がコンビニ本部側にあるという中で、様々な不都合も発生しているのだと理解するが、自民も発言されたとおり、業界内では是正に向けた動きもあるので、その動向をしっかりと見守りたい。ただ、維新の会の修正案文内容に応じられるようであれば、再考の余地はあるが、いかがか。

○いそみ恵子日本共産党政務調査会長

具体的な提案を公明さんからいただき、改めて維新の修正案文を確認したが、再検討させていただいて、ぜひ通していただきたいというのが率直な思いである。

○春名哲夫 座長

自民党のご意見はいかがか。

○大豊康臣自由民主党政務調査副会長

維新の案でもいいというのであれば、必要ないのではないかと思う。業界の自助努力は、業界の信頼を得るために大切なことである。まずはそこを見守っていかなければならないと思うので、再考には応じられない。

○いそみ恵子日本共産党政務調査会長

動向を注視いただけるなど、前向きなご意見をいただいた。今回は見送るが、今後ともお願いしたい。

○春名哲夫 座長

それでは、意見書案9については、自民から再考に応じられないという意見があったので、本意見書の提出を見送る。

(2) 意見書案の整理

(1) を踏まえ、座長において次のとおり整理した。

① 全会派一致の賛同が得られた意見書案

なし

② 全会派一致の賛同に向けて座長調整案を示す意見書案

意1 下水道施設の改築に係る国庫補助制度の堅持とさらなる予算の拡大を求める意見書

意2 交通安全対策の総合的な充実・強化を求める意見書

意3 不登校対策の更なる強化を求める意見書

意4 児童虐待防止対策のさらなる強化を求める意見書

意6 登下校中の子供たちの安全確保に関する意見書

意7 コミュニティバス導入に関する意見書

意8 LGBT/SOGI への差別のない社会環境整備を求める意見書

※公明党・県民会議からの意見のとおり、意2と意7については統合する方向で座長調整案を示すこととなった

③ 全会派一致の賛同が得られなかった意見書案

意5 農林水産物・食品の輸出力強化を求める意見書

意9 コンビニ業界の健全な発展をはかるためのコンビニ・フランチャイズ法の制定を求める意見書

④ 座長預かりで提出可否を含め調整を行う意見書案

なし

(3) 日程確認

第3回会議を6月24日(月)常任委員会終了後(12時50分頃)から開催することを確認した。